

『正しく怖がる⇒怖がらないけど注意する…へ①』

家庭内感染が増えています。様々な感染経路が報告されていますが、数的にはお父さんを起点として、其処から家族に…というパターンが圧倒的に多いようです。

高齢のお爺ちゃん、お婆ちゃんが居れば深刻な事態に陥る可能性も含んでいます。

子供は感染しても重症化しないのは、データからも明らかですが、絶対に重症化しないという保証がある訳ではありません。

家庭内感染の多くがお父さんから…というのは、概してお父さんが外での活動機会が多いことに拠るのでしょう。

ソーシャルディスタンス(3密回避)、マスクや手洗いを確実に行うことで、感染リスクは大きく下がる。

何処で／いつ感染したのか？“本当に”分からないケースは決して多くはありません。

当初、懸念された通勤電車での感染リスクも決して多くないことが報告されています。

油断してマスクを取ってしまう…食事や会食。特にお酒が入るとついつい…、

その油断が仇とならないように、そういった機会を絶つこともお互いに大切かもしれません。

当初、「子供は感染しない」「子供は感染させない」と云われましたが、どうやらそれは間違いのようです。

「感染するけど重症化したケースは殆どない」というのが実際の処。

いずれにしても家庭内感染を徹底的に抑え込み、次の職場や学校など家庭外感染への契機としないことが大切です。